国民の世論と運動で、「社会保障・税一体改革」をやめさせ、社会保障拡充への転換を！

ほっかいどうの社会保障

２０１５年２月１２日　　北海道社会保障推進協議会　Tel:011-758-2648　FAX:758-4666

「介護報酬は引き上げこそ必要」「保険料は軽減を」

介護報酬大幅引き下げ案は「介護業界を崩壊させる」 緊急市民集会開く

政府は、6 日、2015 年度からの介護報酬を大幅に引き下げる改定（案）を決めました。平均で 2.27%の引き下げと報道されていますが、介護職員処遇改善加算などの加算分を除く基本部分は 4.48%の引き下げです。特に通所介護や特別養護老人ホームの引き下げが大きく、通所介護の要支援は 20%以上の引き下げや高齢者集合住宅の 10%減算など、事業所の存続が危惧されます。

翌日の 7 日、札幌市内で、介護に笑顔を！道連絡会や道労連の主催で、介護報酬引き下げは断固反対「緊急市民集会」が行われ 115 名が参加しました。17 の事業所、3 団体、政党・議員から賛同も寄せられました。集会では、同会・河原政勝共同代表が、介護報酬改定案の詳細を報告。「大幅引き下げで、中小や単独の事業所の経営は半年も持たない。このままでは介護業界は崩壊してしまう」とし「国の責任で介護報酬を大幅に引き上げるよう、全国に発信しよう」と呼びかけました。リレートークでは、介護職場で働く職員や介護する家族、労働組合の代表など 8 名が発言し、介護現場の実態と報酬改定による深刻な影響が浮き彫りとなりました。

政府へ　FAX要請やパブコメ応募（3 月 11 日まで）の集中を！

パブコメについてのURLhttp ://search.e-gov.go.jp/servlet/Public?CLASSNAME=PCMMSTDETAIL&id=495140439&Mode=0

札幌　介護保険料引き上げ中止を求め　市長と市議会へ要請・陳情

6日、札幌市は次期2015～17年の介護保険料（65歳以上対象）を、現行の平均4656円→5177円（＋521円）とする案を12日からはじまる市議会に提案すると発表しました。

同日午後、札幌社保協と年金者組合札幌支部協は、「介護保険料の引き上げ中止を求める」要請書を市長あてに提出しました（右写真）。

要請項目は2項目です。
①次期保険料の引き上げ中止
②国が延期した低所得者の保険料軽減を市として実施。

参加者は「高齢者は年金が下げられ、消費税増税などで暮らしが厳しい。これ以上の負担増をしないでほしい」「国の低所得者軽減に期待していたが、延期になったので、実施までは市で独自に実施してほしい」等を要請。市の担当部長は「みなさんの要望や声を市長に伝えたい」と答えました。

また、市議会では予算案と共に保険料についての条例改正案として審議されるため、議会に対して、引き上げ中止の陳情もしました。（札幌社保協FAXニュースより）

各地で、介護保険料の軽減を求める取り組みをすすめましょう

いのちとくらしを守れ！　2.21 総決起集会　（集会後はパレード）

日時　2月 21 日（土）13：30～　　場所　自治労会館ホール
各分野からのリレートーク　　大阪から特別報告も
「凶暴な新自由主義、維新政治のもとでの大阪でのたたかい」全生連会長の大口耕吉郎さん